

07 PROJECT 飼料事業

高品質で安価な配合飼料で、 生産性向上をサポート。

ホクレンでは、「生産者所得の向上」をめざし、最新の栄養水準を満たした配合飼料の供給と、飼料製造・物流の効率化を進め、コスト削減に注力。9割以上を海外から輸入している飼料原料を安定的かつ安価に仕入れるため、全農との連携による原料産地の多元化を図る一方、生産物とマッチングした国産原料の活用も推進しています。また、JA担当者と連携しながら組合員の生産性向上に役立つ情報提供に努めています。

:Feed business

優良製品の追求

組合員のみなさまの生産性向上をめざし、厳選した原料を使用しくみあい配合飼料を製造しております。道内自給粗飼料の豊富な分析データを活用するとともに、NRC2001(米国国家研究会議の乳牛の飼養標準)などの最新の栄養レベルを満たした製品の開発をおこなっています。

安定供給の継続とコスト低減

配合飼料価格の抑制をめざし、従来の純バラ比率向上による流通コストの低減に加え、くみあい配合飼料工場の再編と他社飼料メーカーとの製造受委託および品目集約に取り組んでおります。

これからも、さらなるコスト低減と安定供給実現のため、とうもろこしなどの原料産地の多元化や、エタノール副産物であるDDGSや飼料用米などの採用を継続して実施します。

防疫体制の強化と品質管理の徹底

ホクレンくみあい飼料では、BSE発生を契機として制定された「新ガイドライン」への対応として、牛用飼料と鶏・豚用飼料を完全分離した製造体制を整えています。また、工場では家畜に害を与える病原物質が侵入することのないよう、敷地内の一般エリアから準規制エリアに入る車両は全て車両消毒装置で洗浄・消毒し、人の出入り口にも消毒液を配置。

さらに、全ての工場でISO9001および抗菌剤GMPガイドラインを取得し、品質管理の徹底に努めています。

営農コスト低減に向けた系統組織力の発揮

系統組織力をいかし、畜産農家の営農コスト低減を推進。全農衛生クリニックの活用による衛生管理の提案、ホクレンくみあい飼料(株)粗飼料分析センターの粗飼料分析結果にもとづく自給飼料主体の飼養管理体系の提案、畜産販売部門と連携した牛肉・豚肉のブランド化などに取り組んでいます。

また、訓子府実証農場での講習会を通して、JA飼料畜産担当者の知識・技術向上を図っています。

RELATED FACILITY [関連施設]

訓子府実証農場(訓子府町)

乳牛344頭・肉用牛110頭を飼育し、配合飼料の開発、飼料作物の実証試験、飼養管理技術の研究など、生産現場にフィードバックできる研究テーマに取り組んでいます。

また、酪農ヘルパー養成や後継者の実践研修の場としても利用されています。



PARTNER [パートナー]

ホクレンくみあい飼料(株)

年間約85万トンの配合飼料を、道内3か所の工場で製造し、全道の組合員のみなさまへお届けしています。

【工場】・釧路西港工場(釧路市)・苫小牧工場(苫小牧市)・十勝工場(士幌町)



CLOSE UP [クローズアップ]

新たな搾乳用配合飼料「ニューコネクト」シリーズが誕生しました

新たな配合飼料で生産性の向上を!

ホクレンでは、新たな搾乳用配合飼料「ニューコネクト」シリーズを発売しました。名称のコネクトは「つなぐ」という意味を持ち、「生産者の所得向上につなげる」というコンセプトで開発されました。今まで販売していた「ニューリード」(ホクレンくみあい飼料製品)と「モンスター」(MFフィード製品)、それぞれの商品特長を引き継ぎながら、新たな改良も加えて品質を高め、より生産性向上に役立つ配合飼料になりました。

「ニューコネクト」シリーズ 製品特長

- 新たにエクストルーダー(高温高圧)処理大豆油粕を配合しました。また、サッカロマイセス・セレヴィシエ酵母も引き続き添加するなど、ルーメン発酵の安定性を考慮した飼料です。
- ニューリードの特長であったビタミンADEの添加レベルを強化しました。7.5kg給与でビタミンADEはNRC2001^{※1}(体重680kg、乳量35kg)を満たします。
- TDN^{※2}レベルはニューリードやモンスターと同様の75。コーンやグラスどちらのサイレージにも基本配合飼料として使用しやすい、汎用性の高い飼料です。
- モンスターの特長であった大豆圧パンやアルファルファペレットも配合されています。(ペレット&フレークのみ)

※1:米国の代表的な飼養標準

※2:可消化養分総量。飼料のエネルギー含量を示す指標

名前(コネクト)の由来

